

平成 30 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	社会福祉法人聖隷福祉事業団	ホーム名	浜名湖エデンの園	ID	2724
	評価機関	株式会社ケアシステムズ		評価日	2019.1.31

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.2.1	A	A	2.3.7	A	A	6.2.3	A	A
1.2.2	A	A	2.3.8	A	A	6.2.4	非該当	非該当
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	C	A
1.4.1	A	A	2.4.2	A	A	6.2.9	B	A
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	A	A
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	A	A
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	A	A
1.4.5	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.1	B	B	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.8	A	A	3.1.3	A	A	7.3.1	A	A
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.2	A	A	3.1.5	B	B	7.3.3	A	A
1.5.3	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	A	A	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	A	A
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	B	B
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A
2.3.2	A	A	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A

※MSゴシック・全角で A B C 非該当、のいずれかを入力。本シートの改ページは禁止。

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケルNo.	所 見
1-5-1	1973年の1号館の開設以来、現在は最大定員519名の受け入れを可能とする日本最大規模の有料老人ホームである。本年度は、経年変化や廉価などの理由から1・2号館の建替え工事に着手した。工事に先駆け、1・2号館の入居者を増築4号館に引っ越してもらうことに取り組み、9月1か月間で円滑に実施されたことが報告されている。運営委員会をはじめ個別の説明会などを開催して理解を求め、入居者の負担を最小限に抑えながら適切に取り組んだことがうかがえる。
2-4-3	施設では様々なリスクに対応できるように、事故予防委員会やリスクマネジメント委員会の定期的な開催をはじめ、災害訓練なども実施している。また、防災対策用の各種の備品や非常食なども取りそろえている。本年10月には開設以来はじめて27時間の停電を余儀なくされる事態に遭遇した。1日以上停電が続いたが、日頃から行っている災害対策訓練や充実した備品類によって、二次災害なども発生せず、入居者の不安を最小限に留めながら対応できたことが報告されている。
6-3-2	法人が運営する総合病院（聖隷三方原病院）が併設されており、様々な医療的ニーズへの対応が可能になっている。特に認知症状の早期の発見や、認知症利用者に適切な支援を提供することを目的に、精神科医との連携に力を入れている。また、職員に対してもパーソンセンタードケアの研修を開催し、専門性の高い支援が提供できるようにしている。パーソンセンタードケアを実践するために必要不可欠とされているケアマッピングについても5年前から取り入れており、概ね6時間マッピングすることで行動を詳しく把握し、チームケアの推進に役立っている。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケルNo.	所 見
2-1-1	2020年の6月には新たな1・2号館を完成させ、新たに100名の入居者を迎えることを計画しており、グランドオープンに向けての各種の作業は中期事業計画に掲げ、円滑に取り組めるようにしている。また、部署間をまたがる準備業務については、定期的にミーティングを開始しスケジュールに沿って適切な推進に努めている。さらに現在の入居者と職員が共通認識を図りながら、グランドオープンを迎えられるような「コンセプト」や「キャッチフレーズ」を掲げることも必要と考えられる。
7-5-7	認知症の入居者の行動特性については、パーソンセンタードケアの手法を導入するなどによって専門性の高いケアに取り組み、円滑な日常生活を支援することに努めている。ただし、介護フロアの入居者と他の入居者が関わる機会が限定されていることを施設では認識しており、さらに多くの入居者に認知症の理解を深めてもらうことを目指している。来年度は利用者の中からボランティアを募って、認知症に関する理解を深めてもらいながら、交流の輪を広げる機会を設けることを目指している。早期に着手されることが望まれる。

○受審ホームの所見（10ポイント・大文字で入力）

<p>全体を通して、大変スムーズに審査をしていただきました。訪問調査では、実際に現場を見て判断いただきたい項目も多くあったため、施設見学を丁寧に行いました。そこでの多くのやりとりから、当園についてより深くご理解いただくことができたのでは、と思っています。</p> <p>当園は今回が3回目の受審です。依然としてハード面での改善困難な項目が残るものの、それら以外に前回の受審でA評価にならなかった項目は今回全てA評価になり、十分に評価いただけたと感じています。</p> <p>現在当園は耐震対策建替え工事を行っており、入居者にはご不便をおかけしておりますが、その中で最大限でき得ることを常に考えながら、職員一丸となって取り組んできました。また、パーソン・センタード・ケアに基づくサービスの提供は当園の根幹としているため、これらを優れた取り組みと評価いただけたことを嬉しく思います。2020年のグランドオープンに向け、アドバイスいただいた事柄を盛り込みながら、引き続き入居者の快適な生活を実現するために最善を尽くしてまいります。</p>
--